地域貢献推進奨励金

こどもの目の日プロジェクト
―おめめでwoowを広めよう！―

島根県立大学　人間文化学部

内山　仁志　　梶間　奈保　　福井　一尊　西村　健一

保育教育学科　1～4年の学生46名

（1）活動成果の概要

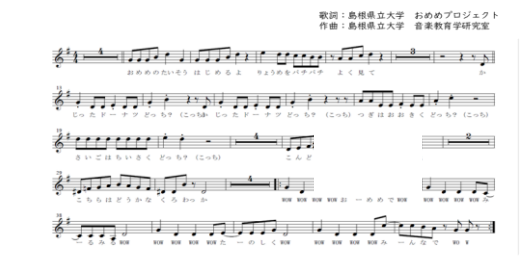
この取り組みは非日本眼科医会が制定した「こどもの目の日記念日」を中心とした全国的な見る力を育む取り組みに合わせて、就学前の幼児が意識しやすいように目に関する体操の楽曲および踊りを作成し、それを地域の保育園等に広める活動である。講演会と視覚に関するブースの出展をするだけでなく、視覚健診や運動遊びの企画と連携して、「おめめ体操」を紹介した。また体操を通した啓もう活動とともに保護者や保育士等への目に関する正しい知識の普及も目的の一つであった。さらに本学学生が主体的に企画し、地域の専門機関のスタッフ（眼科医や視能訓練士、保育士、幼稚園教諭等）と連携したり、実際に子供の視力検査をしたりといった経験は、授業だけでは体験できるものではなく、この活動が目に関する知識の習得に加えて、様々な人との連携の大切さを学ぶよい機会になったことがアンケート結果からうかがい知ることができた。

A保育所における活動

運動イベントにおける活動(隠岐)

学生スタッフ　アンケート結果より

目の専門の方がいてその方と協力することで子供たちにしっかり目の大切さを伝えることができました。
子供たちと多く関われたり、養護学校の方ともお話できたりしたのでよかったです。
県立大学の学生1～4年生までが協力して作り上げるイベントはこれまであまり無かったため、盛大にできて楽しかった。子どもたちも楽しそうで、すごく良かったと思う。
たくさん子どもとか関わることができたり、ひとつの大きな企画をみんなで作り上げていき、充実した時間だったから。
今回のような、学年を超えた大人数でのイベント企画、実施をしたことがなかった(コロナで出来なかった)ので、みんなで楽しく協力しながらイベントに携わることが出来て嬉しかったから。
たくさんの子供たちと保護者さんが笑顔で参加してくださってボランティアをしていてとても楽しかったからです。また、先輩たちの企画の進め方や準備の入念さがとても勉強になりました。



おめめ体操動画

（イントロ）
※WOW WOW WOW WOW　おめめでWOW
WOW WOW WOW WOW　みるみるWOW
WOW WOW WOW WOW　楽しくWOW
WOW WOW WOW WOW　みんなでWOW!!

1．視力はかるよ、ドーナツ!

（Aメロ）
おめめの体操始めるよ 両目をパチパチ よく見て（みて）

（セリフ）
「あれー？　ドーナツがかじられてる！
かじったところは　上？下？どこかな～？」

（Bメロ）
かじった　ドーナツ　どっち？　（こっち）　[左]
かじった　ドーナツ　どっち？　（こっち）　[右]

つぎは　大きく　どっち？（こっち）　[左]
さいごは　小さく　どっち？（こっち）　[右]

（セリフ）
「みんな　よく見えたかな？　あれあれ　ドーナツが…」
今度はドーナツ　なくなった　こちらはどうかな 黒輪っか

☆ミルミルハルカル　オメミル　ランドル！！☆

（サビ）　※繰り返しx2

2．片目で見よう視力検査!!

（Aメロ）
おめめを隠してよく見てね　右目にてのひら　あてるんだ

（セリフ）
「さぁ　ドーナツをみてみるよ～
かた目でも見えるかな～？」

（Bメロ）
指（右手）で　答えて　どっち？　（こっち）　[上]
もいちど　答えて　どっち？　（こっち）　[下]

ポーズで　してみて　どっち？　（こっち）　[上]
さいごは　かっこよく　どっち　（こっち）　[下]

（セリフ）
「じゃあ　こんどは 反対の目をかくして できるかな？」
おめめを隠してよく見てね 左目　てのひら　あててみよ

☆ミルミルハルカル　オメミル　ランドル！！☆

（サビ）　※繰り返しx2

（2）活動の効果・目標達成度

本活動の成果は以下の通りである

1）幼児が楽しめる「おめめ体操を作成し、披露した（作詞、作曲、振り付け、動画作成）

2）地域の保育所に実際に出向いて、普及活動を行った。子供たちから大人気であった。（保育所には複数回来訪したが、おめめ体操をずっと踊ってくださっていたことが判明）

3）6/30の県民文化会館で行った講演会とお楽しみ会にて300名前後の来場者に「おめめ体操」を披露した。またお楽しみブース（別紙参照）も出展し、どのブースも好評であった。

4）視覚健診とともに行った園では、実際に弱視の早期発見ができた。(A保育所)

5）運動イベントとともに行った企画（隠岐）でもよいパフォーマンスにはよい視力が必要であることを市内の小中学生および養護学校の児童生徒に普及できた。